

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 8 年 5 月 1 5 日
② 法人・団体名	特定非営利活動法人セイブアライフ		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	宮城県刈田郡蔵王町円田字弁天 38-3		
③ 責任者氏名	小野恵	(役職名等)	代表理事
④ 担当者氏名	加藤雪彦	(役職名等)	副代表理事

【奨学活動の概要】

⑤ 助成交付決定番号	R07-023	⑦助成金額	4 2 万円	⑧申請カテゴリー	DS
⑨奨学活動名	児童養護施設の子どもに寄り添い・学習支援、フェアスタートを目指して				
⑩主な実施場所名・及びその住所	1、仙台天使園（仙台市太白区茂庭台 4-1-30） 2、会津児童園（会津若松市大戸町小谷川端 79） 3、秋田感恩講保育園（秋田市寺内神屋敷 2-1）				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

- 1、仙台天使園では、中学生 8 人（支援学級 1）、高校生 2（不登校 2）を支援。中三受験生 3 人には、子供一人に支援者 2～3 人が担当。高校生には進級の危機対応にあたった。機械科希望の中三男児は、東北大学理系学生・院生が担当し、地元工業大学付属高校に合格。他の中三 2 名は第一希望の私立高校に合格。
- 2、会津児童園では中三女兒の長欠者に、経験学生の人格者がついて支援。基礎数学・進路相談・作文・面接指導や心理的応援をした。第一希望の通信制高校に進学。1 2 回。
- 3、秋田感恩講保育園では、家庭復帰を目指す中二女兒 2 名を支援。学力の基礎や上位の勉強支援。2 6 年度も継続。1 2 回。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	140	2	280	1:1 個別支援
高校生等	24	2	48	1:1 個別
大学生等				
学習支援員等				
その他				
合 計			328	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：児童養護施設の子どもに寄り添い・学習支援、 フェアスタートを目指して

法人名：特定非営利活動法人セイブアライフ

作成者 氏名： 加藤雪彦

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

☆親と暮らせない期間・引き離しの期間に受けた発達上の課題を、側面支援して、進学・就職の際に不利益を軽減し、自立を助ける。尊重された経験により、人と社会への信頼と自己肯定感の回復。

また、市民の側で、施設の多忙化を軽減する共助の一環を探ります。

①中学生の進路の希望実現を目指す。中 3 生の受験に、塾に通えない（成育歴、保護期間等）児童の学習支援。基礎的学力の補填や、解くべき問題の選択と解き方の支援。個々に応じた勉強内容の工夫。
→中三生 3 人が希望高校に進学。

②通常学習の遅れの支援。中学生 7（支援学級 1），高校生 1。措置移行期間の児童，高校男子の未習部分の学習や聞き役支援。進級課題問題の作成支援。

③新しい教育観・進路の試み。特別な才能を発揮する子の、能力伸長と発達上の補填、能力を生かした職業の紹介や開拓。

→数学的な能力や芸術的才能は、生かされることなく、発達上の生活スキルの問題から、作業所や単純労働の就職も多かった。施設側も調査を開始しており、能力を生かしながらできる仕事を探した。例えば、東北大学理学部数学科研究室に相談し協力を得て、院生派遣による特殊能力と対人スキルの向上をはかっている。ある分野の突出した能力は小学生レベルで出ている。発達のバランスも必要。

2. 実施した奨学活動の詳細

☆活動内容

分野	参加者と延べ	内容
中三進路	男子 1 女子 3 5 6 回	2 時間個別、各施設に訪問。 志望校に合わせた、科目対策。目標値設定・補習。
基礎力補完 長欠者補填学習	中学 7 人、 高校 1 計 108 回 中高生合計 1 6 4 回	2 時間個別。通常学習の補完、定期試験対策。 未習部分の学習。赤点対策、再試重点補習、進級支援。
特別才能支援 バランス発達	小 4 年男・5 年女児 4 4 回	個別 2 時間。特別能力の伸長。発達のバランス補完。 算数と文学。ボランティアの自作教材多い。

2 6 年度ニュースレターをご覧ください。

☆子供の学習希望は、毎年各施設に呼びかけて把握、希望内容やボランティアの適性をすり合わせます。

募集状況と地域の協力

☆ボランティアの呼びかけは、ホームページから単独で申し込みがあります。

また、学徒仙台として、各大学のキャリア支援室とボランティア支援室に学内掲示を依頼し、多くの担当者の応援をいただいております。大学生が社会の 이슈に触れて、多角的視点を持ち市民としての行動・成熟を願っております。

依頼先：仙台5大学（東北大・宮城教育大・公立宮城大学・宮城学院女子大学・東北福祉大学）、東北公益文科大学・鶴岡高専・公立会津大学短期大学部・秋田大学・日赤東北看護大学の地域共創部署並びに知己の先生方の協力を得た。ボランティアも、内外の児童養護に触れて学びの機会を確保、遠近法を学び充電しております。

☆カンボジアの日系孤児院テクニカルアドバイザー岩田亮子氏と自立の為のカフェメンバー現地女子高生2名が来仙。報告会に仙台のボランティアも参加、見識を広げている。学生も数人で毎年現地訪問を実現。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

- ①児童養護は国連勧告に従い家庭的養護の方針であるが、予算・人員が従来のままで、職員の職場環境が悪化。以前より課題の多い児童が増えて、社会的認知・応援がさらに必要。
- ②外部支援者と施設基本学習方針のすり合わせは、時間的にも難しく、職員の負担が増える。
- ③多様な人材を母集団（教育学系大学に加え、東北大の例、医4，理1，工学2，法1，農1，教育2。ITエンジニア女性1など）として、子どもに対応できる多様性・受容性がさらに大事となる。
- ④自立向上の意欲は、子どもによりばらつきがあり、無償ボランティアの志の継続・応援が課題。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

☆高校生の長欠男児に、児童館長兼福祉専門学校教官の方が対応。進級支援と人生設計の相談に乗った。
☆不当気味の中三女兒に、経験を積んだ女子学生が親身になって支援。相談と対策に徹して希望実現
ボランティアの力量と工夫によって、この活動がかなえられている。人の世のありがたさを痛感。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

担当者氏名	高橋寛人	担当者連絡先 (電話・メール等)	hirotota@isenshu-u.ac.jp
所属・部署名・役職等	石巻専修大学人間学部人間教育学科教授 横浜市立大学名誉教授		
セイブアライフは、常に社会的に弱い立場の人への眼差しをもって、支援しようと志を持っている方々を応援する団体です。未来を支える若者のためには、教育の機会均等の実現は取りこぼしできません。この活動は、学生さん達をはじめ、支援側と受け手の双方の成長と社会へ還元できる貴重なものであり、共鳴する方々の連携を強く望んでいるところであります。			

皆様のお力をいただき2025年度も活動することができました。生まれてきた命が愛育の保証と自立の為に人格基礎を授かるようお願いしながら。ボランティアの創意工夫と人柄により、子供たちから慕われ、共に成長していく実感を持つことができました。



(宮教大・当会第一期生)

☆児童養護施設の子どもに将来の夢形成支援に入っています。困窮など様々な理由で親元を離れています。就職後に失業や非正規などで貧困の連鎖に入らないよう寄り添い・学力支援をしています。人生のフェアスタートのために。月に2回ほど個別支援。内容は、個性豊かな学生さんが子供の実情に合わせて工夫します。優秀な学生スタッフの見識に支えられております。ひとり暮らしや遠方通学も多く意識が高いです。

25年4月から26年3月にかけて学生・社会人ボランティアにより、①仙台市内児童養護施設の子供たちに寄り添い・学習支援。学徒仙台は大学生20名・社会人7名の体制。**天使園本園・分園**3つの小学生4名、中学生8名、高校生2名。職員の御苦勞の賜物。4年生の学生さんたちは今春学業を終え故郷秋田の先生1、企業1、施設1に就職。のべ205回(中高140)



仙台ばかりでなく、東京方面の戦災孤児も多勢入園して来た(昭和20年12月)



私の名の為にこの幼子を受ける者は私を受けるのである
(ルカ聖福音 9章 48節より)

②大船渡市の**児童養護施設大洋学園**の尽力で、小学生10名への寺子屋学習支援。ボランティアは退職校長先生、岩手復興部門と高田市民活動の方々6名。延べ198回。月4回の時もあり、教育愛と試行錯誤の日々。



千葉氏と今野氏

大洋学園各ホームでは、子どもが企画するお楽しみ会にボランティアはお呼ばれしています。お菓子作りや進捗も子供がやるよ！旅行など「生活スキル習得支援」実施中。みんなで野菜も梅酒もつくったよ！いつも手作り問題ありがとう。

③**鶴岡思恩園**の小学生の学習支援。東北公益文科大学4年生・同大英語講師と鶴岡高専の女学生さんが担当。小学生延べ66回。幼稚園で二けたかけ算できた小3男児もいるよ。4年生は東京就職。2年間ありがとう。

④**福島県会津児童園**は8月から始まる。公立会津大学短期大学部、幼児・福祉教育ご担当の佐々木誠二研究室の全面協力で、1年生4名2年生3名が、小学男児6名中三女児1名を支援。リーダー油井君は進学。2年女子は就職されました。多くの実習の中で感謝です。小僧たちは学生さんを楽しみにしていました。延べ71回

⑤**秋田感恩講保育園**は11月本格開始。日赤東北看護大学及川先生の全面協力をいただき、看護大6, 秋田大1でスタート。小学女児5・中学女児2が学びます。看護大4年生3名は、故郷で養護教諭になりました。延べ52回 さみしさの中、2026年5月は、看護大1, 秋田大1名の女学生が新たに参加です。感恩講とは、江戸時代に藩の商人・有志が集まり救民をした仕組みで、NPOの原点とも言えます。家庭的養育にご苦労されています。

○小学生は「公益財団日本ライオンズ寺子屋事業」

中高生は、「公益財団樫の芽会奨学制度」の助成をいただいています。

☆**外国孤児院への支援は**、25年11月30日カンボジア HOC(ホープオブチルドレン)孤児院の岩田亮子氏が17歳ワンさん・18歳イーさんと来仙。報告会を宮城 NPO プラザで実施。先立つ2025年2月当会有志7



名が現地訪問。カフェ10周年記念の祭礼に参列、のち市外の HOC をボランティア訪問。写真は歓迎会・カフェ・11月初めての300キロ・昨年卒業の VO 福祉大 OB とホテル談笑。

報告会では、1, バッタバン市内の HOC café(自立経営と就労スキルの為の施設)は、賃貸の大ピンチを乗り越え、新装オープン。フランス人カフェオーナー・日本人建築家の協力を得て、子どもたちが市内のカフェを研究、自力で改修。10年かけて岩田さんが分身のように育てた場所、中高・卒園生が交代

でスタッフとして運営。安定した家屋が欲しいです。2, 児童養護施設そのものを減らそうとする国策に対して、苦しい交渉の日々です。日本留学や医学部・先生を目指し、頑張っている女子高生が何人もいます。「勉強の機会を与えたい」園長ムニー様と岩田氏の願いです。ツーリストと外国人に好評のモーニングは盛りだくさんフルーツ付、たくさんのお客さんが常連に。親子丼と茶わん蒸しから始めて、今は安全な水と食事で市内人気 NO1。国は年に10%の経済成長。恩恵は全部に行き渡らず、格差拡大。保護すべき児童は増加！物価は、日本の5分の1から、3分の1に上昇。大人の収入は月3万円。中国による IT 社会化と借金。しかし、85%が農村人口。オーガニックな農産物の実力は偉大です。平均年齢26歳、子供たくさん、国力の元です。日本は…。(はて、この中に兄と妹がいるよ?)